

イラン戦争の影響で
資材不足。
お金が入らない。

材料がないため、防水や内装づくりが滞ったり、ほぼ完成なのに浴槽がなくて引き渡しが出来ないからお金も入らない…。コロナ禍以上に厳しい。

建設業者



歯科治療に
欠かせない物が
極度に不足している。

麻酔薬、グローブ、紙コップ、紙エプロン、抗生剤、鎮静剤が極度に不足している。「治療が出来なくなるかもしれない」「休診を考えている」という声も。

歯医者



長期金利の上昇で
奨学金返済の
利子が激増。

この春卒業した学生に適用される有利子の奨学金は、利子の大幅上昇で、4年前は349万円だったものが、今は427万円に…。

労働者



補正 予算で くらし 営業 守れ!



日本共産党都議団が知事に緊急提案



[提案項目は裏面に]

日本共産党都議団は4月15日、知事への緊急申し入れを行い、その後、知事が「補正予算を含めて検討する」と述べたことは重要です。5月21日、共産党都議団は改めて知事に4つの柱・35項目の緊急提案を行いました。対応した山下副知事は「知事から必要があれば補正予算をと言われており、各庁内で検討している」「知事宛の要望については、しかと受け止めさせていただきます」と述べました。

日本共産党都議団報告

2026年5・6月 ご意見・ご要望をお寄せください
電話 03(5320)7270 FAX 03(5388)1790 新宿区西新宿2-8-1



公式LINE
始めました!



提案1

イラン戦争の影響から
中小事業者の
生業を守る対策

- 全庁横断のプロジェクトチームを設置し、イラン戦争の影響について直ちに実態を把握すること。
- 都発注の工事にどのような影響が出ているか実態をつかむこと。また、建設資材の価格高騰や供給の実態を把握し、関係団体や事業者への情報提供を行うこと。
- 都発注工事等で、資材高騰や供給遅延の実情を踏まえ、設計・契約変更、工期延長等を柔軟に運用するとともに、契約におけるペナルティ緩和や納期の猶予をすること
- 家賃やリース料、電気・ガス代などの固定費補助を行うこと。
- 農林水産業に関する資材等の高騰に対し、緊急に支援を行うこと。
- 今回の事態を「危機」と位置付け、融資対象の要件の抜本的緩和、既存の保証債務と切り離した別枠の保証枠の創設、「つなぎ融資」としての融資条件の緩和を実施して、事業継続できるように支援すること。
- 原油由来製品の代替製品の研究を都として行うこと。また、研究を行う中小企業を支援すること。

提案3

熱中症から
都民の命と健康を守る
暑さ対策の強化

- エアコン購入費補助は、都として生活保護世帯を対象とした補助の要件を緩和し、2台目以降の購入等も支援の対象とすること。また、低所得者世帯への補助は、区市町村への財政支援を強め、幅広く支援が行われるようにすること。
- エアコンの使用をためらうことのないよう、夏季における電気料金の助成を行うこと。
- 都立学校と同様に、区市町村立小中学校でも、プールのシェード設置などの暑さ対策に支援を行うこと。

提案2

物価高騰の
影響から
都民生活を守る対策

- 医療機関、福祉施設・事業所、公衆浴場などを対象とした都の物価高騰緊急対策事業は、イラン戦争の影響も踏まえ、実態に合わせた増額・拡充を行うとともに、支援期間を延長すること。
- スマホやマイナンバーカードがない人は、東京アプリ生活応援事業の対象から外れています。すべての都民に対し、公平に生活応援事業を行うため、東京アプリ生活応援事業の対象外になっている都民に対し、11000円の現金支給をおこなうこと。
- 水道基本料の無償化は4ヶ月に限定せず、年間を通して行うこと。また、一律10%水道料金を引き下げること。
- 物価高騰のもとでも生活できる賃金になるよう、中小企業の賃上げ支援を大幅に強化すること。
- 都として家賃補助の実施に踏み出すとともに、区市町村が行う家賃補助にも支援すること。
- 国民健康保険料（税）と後期高齢者医療保険料の負担軽減を行うこと。
- 都として奨学金の利子補給の支援を行うこと。

提案4

感染症とクマ被害から
命と健康を守る

- 麻しんワクチンの定期接種についての広報、啓発等を強化するとともに、麻しんワクチンの任意接種費用への助成を行う区市町村への補助について、補助率を2分の1から10分の10に引き上げ、地域による格差なく、必要な方が無料で予防接種を受けられるようにすること。
- クマ被害防止のために自治体を実施する対策講習会、緩衝帯の整備、電気柵の設置などへの財政支援、正しい知識や情報の普及をさらに強めること。都所管の緑地・河川等の藪の刈り払い等を強化し、多摩川の河川敷の管理強化を国に要請すること。

